

# タンポポから考える生物多様性

講師 渡邊 幹 男 さん (愛知教育大学教授)

タンポポには、日本に昔からあった「ニホンタンポポ」と明治以降外国からきて日本に定住した「帰化タンポポ」があります。ところが、最近、遺伝子分析からニホンタンポポと帰化タンポポの「雑種」がたくさんできていることがわかってきました。



雑種って何だろう？

どうやって雑種ってわかるのだろう？

タンポポを観察したり、遺伝子を調べて生物多様性について考えてみましょう。

1回目は、現在のタンポポ事情についてのお話と野外での観察・採集のしかたを説明します。

そのあと5月の初旬に自宅のまわりでタンポポの観察・採集をしてください。

2回目は、採集したタンポポのDNAを抽出して分析する実験を行います。

■開催日時 第1回 2013年4月28日(日) 午後1時30分～3時30分

第2回 5月12日(日) 午前10時～午後4時

■会場 名古屋市科学館 実験室 (定員32名)

■参加費 大人(高校生以上)670円、小中学生370円

■募集対象 小学生以上で、2日とも参加可能で、5月初旬に自宅付近でタンポポの観察・採集ができる方。32名。

★小中学生は必ず保護者と一緒に参加してください。

■申込方法 往復はがきに氏名、年齢(または学年)、〒住所、電話番号を記入し、下記に送ってください。締切 4月14日(日)必着。応募者多数の場合は抽選。

※インターネットでも申し込めます。

パソコン用 <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>

電話用 <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/m/>

問合せ・申込先

〒460-0008

名古屋市中区栄2丁目17番1号

名古屋市科学館 「タンポポから考える生物多様性」担当

Tel: 052-201-4486

Fax: 052-203-0788